

Hirosaki Neputa Festival 1-7 August

平成18年度「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」受賞
「残したい日本の音風景100選」



重要無形民俗文化財

弘前



弘前ねぶたまつり

8月1日~7日

7月27日	ちびっ子ねぶたのお通りだい(雨天中止)
1日・2日	夜間審査合同運行(雨天順延)
3日~6日	夜間合同運行(雨天中止)
7日	午前合同運行(雨天中止)
	なめかびおくり(雨天中止)

観光・宿泊のお問い合わせ / サービス窓口

- 弘前市立観光館 TEL 0172-37-5501
- 弘前市観光案内所 TEL 0172-26-3600
- 弘前市旅館ホテル組合 TEL 0172-34-2657

観光情報ホームページ

- 弘前交感劇場 <http://www.hkg.jp/>
- 弘前市 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/>
- 弘前観光コンベンション協会 <http://www.hirosaki-kanko.or.jp/>



たか丸くん

重要無形
民俗文化財

弘前ねぶたまつり

弘前ねぶたとは

津軽の夏の夜空を彩る弘前ねぶたまつりは、三國志や水滸伝などを題材にした勇壮で色鮮やかな武者絵が描かれた扇ねぶたや、組ねぶたの大小合わせて総数約八十台が、ヤーヤドーの掛け声と共に市内を練り歩きます。ねぶたは、暑さの厳しい、農作業の忙しい夏期に襲ってくる睡魔を追い払うため、村中一団となって様々な災い、邪悪を水に流して村の外に送り出す「農民事」から生まれたといわれています。昭和五十五年（一九八〇年）一月に重要無形民俗文化財に指定されています。

「ねぶた」のなまこ

弘前ねぶたは、小型のねぶたから順に運行され、後半になるにつれて大型のねぶたが運行されます。それぞれのねぶたの後ろには笛や太鼓の囃子方の一団が続き、勇壮な囃子を観衆の心に残しつつ、中心市街地を練り歩きます。



また最大九メートル超の大型ねぶたが、観客に見得を切りながら電線や看板をかわしていく姿、そして重量何トンもあるねぶたの歩みをとめることなく、汗にまみれて押し引き回していく「男たち」の姿も見事です。また子供たちが手に持つ、藩政期の津軽で飼育されていた金魚「津軽錦」の形を模した、「金魚ねぶた」もかわいらしく、とても趣があります。

地域コミュニティとしての「ねぶた」

ねぶたは、昔から町会単位で出すのも特徴です。製作期間中も、学校から戻った子供がランドセルを玄関先に放り投げ、ねぶた小屋に駆けつけていき、製作を手伝ったり、囃子の練習をしたりするのも「弘前ねぶた」ならではの姿です。そんな、古き良き日本のコミュニティが「ねぶた」により形成されています。



参加もできる「ねぶた」

町会によっては、飛び入りで運行に参加することもできます。一緒にねぶたを引っ張って、弘前に新しい「仲間」を作ってみませんか。（参加希望の際は各団体へ直接お申し込いただくことになります。団体の連絡先は弘前市立観光館へお問い合わせください。）



■囃子

哀調を帯びた笛の音と力強い太鼓のリズムが印象的なねぶたの囃子には、行進、休み、戻りの3種類があり、それぞれの状況で使い分ける。

■大型ねぶた

各団体自慢の大型ねぶた。上に乗っている人たちはねぶたの運行に支障がないように全体に注意を払い、電線や信号などを避ける指示を出す。

■一人持ち燈籠

扇・角燈籠や金魚ねぶたを持つ。



■手摺鉦（じゃがら）

太鼓と笛の囃子を一層華やかに盛り上げるものですが、囃子とのバランスがとても重要。

■さしまた

これで電線を持ち上げて、大きなねぶたを通らせる。

■曳き手

ねぶた本体につないだ綱を曳くことで「ねぶたに参加している」という連帯感が生まれる。

■前ねぶた

昔から「大きいねぶたは後から」というたとえがあり、大型ねぶたの前座として、小型ねぶたや角燈籠が続く。最近では趣向を凝らした前ねぶたが登場するようになった。

■前燈籠・町印

町名や団体名を入れた燈籠が続く。

■そのほかにも・・・

弘前のねぶたは、昔ながらの隊形に従っているのが一般的。「ほら貝」や「錫杖（しゃくじょう）持ち」などを配する団体もあり、これには、魔除けの意味も込められているといわれています。「ほら貝」は昔、戦の出陣の合図にも用いられ、「錫杖」は藩政時代、錫杖紋として馬印や武具類に用いられていた。仏教では智杖、徳杖ともいわれ、煩惱を取り除く功德があるものとされている。

有料観覧席

土手町コース 8月1日～4日

桜大通り観覧席 1,800円

駅前コース 8月5日・6日

駅前観覧席 1,800円

7月1日(火)～25日(金)

全国の

- チケットぴあのお店
- サークルK・サンクス
- セブンイレブン

で直接購入できます。

Pコード 626-800

※ぴあ店舗営業時間は、店舗により異なります。

※サークルK・サンクスは、一般発売翌日以降（7/2～）5:30～26:00まで販売。

※セブンイレブンは、24時間販売。

電話予約

0570-02-9999

(24時間受付)

※毎週火・水曜のAM2:30～AM5:30はシステムメンテナンスの為受付休止。

7月1日(火)～8月6日(水)

弘前市内

- 弘前市立観光館
- まちなか情報センター

でもチケットが購入できます。

団体予約(10名以上)のお申し込み車イスなどご利用のお客様は下記にお問い合わせ下さい。

(公社)弘前観光コンベンション協会

TEL0172-35-3131

ねぶた運行隊形

■運行責任者

町名や団体名を印した提灯を高々とかかげて先触れをする。



この印刷物は環境に優しい大豆インキを使用しています。

弘前-十和田間シャトルバス(予約制)

	弘前-十和田湖	弘前-十和田市現代美術館
運行期間	平成26年4月～10月 ※金・土・日・祝日運行(さくらねぶたまつり期間は毎日運行)	左記運行日のうち9回運行 ※運行日については、下記お問い合わせください。ホームページをご確認ください。なお、運行日は在シャトルバスの運行はございません。
料金	片道2,500円(往復4,000円)	片道3,000円(往復5,000円)
お問い合わせ	弘南バス TEL 0172-38-1212	ホームページ http://www.tsugarunavi.jp/shuttlebus/

津軽フリーパス

津軽エリアの列車やバスが2日間乗り放題！津軽の名所・温泉・観光施設をグッと回って楽しもう。



おとな 2,060円
子ども 1,030円

http://www.tsugarunavi.jp/freepass/

※歩道等での長時間にわたる場所取りは通行の妨げになりますのでご遠慮ください。